

り災証明申請書 (記載例)

※太線の中に記入して下さい

申請者 本人と確認できるものを提示してください。	住所 南富良野町字幾寅〇〇番地	TEL (0000) 00-0000			
	フリガナ ナンブ タロウ				
	氏名 南富 太郎 (印) (S〇〇年〇〇月〇〇日生)				
り災世帯の構成員	氏名	続柄	性別	生年月日	り災家屋 南富良野町字幾寅〇〇番地 (建物)
	南富 太郎	世帯主	男	S〇〇・〇〇・〇〇	<input checked="" type="checkbox"/> 持家 (使用者名 南富太郎)
					<input type="checkbox"/> 借家 (所有者名)
					<input type="checkbox"/> 貸家
					<input type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 非住宅 <input type="checkbox"/> 事業場
り災日時	平成 28 年 8 月 31 日 4時40 分頃				
り災原因	該当するものを○で囲むか、その他の項に記入してください。 台風(10)号 ・大雨・がけ崩れ・土砂崩れ・地震(地震) その他()				
り災物件	該当するものを○で囲むか、その他の項に記入してください。 屋根 ・とい・軒・ 外壁 ・天井・ 床 ・内壁・畳・ ドア ・窓ガラス・障子・雨戸 網戸・サッシ・ベランダ その他()				
備考					
り災程度	<input type="checkbox"/> 全壊・流出 <input type="checkbox"/> 大規模半壊 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 半壊に至らず(床上浸水・床下浸水)				
添付書類	<input type="checkbox"/> 被害状況が分かる写真 <input type="checkbox"/> 修繕見積書				

り災証明書

上記のとおり相違ないことを証明します

平成 年 月 日

南富良野町長 池部 彰 印

- この証明は、災害救助の一環として、応急的、一時的な救済を目的に町長が確認できる程度の被害について証明するものです。
※ 民事上の権利義務関係には、効力を有するものではありません。
- 「り災程度」は「家屋」を対象として、一棟ごとに母屋で判定します。
※ 母屋に付随する家財道具や門柱、門扉などの外構は、この証明の対象となりません。
- 集合住宅の場合、一棟全体で判定しますので、各区分画、各部屋によっては、この証明の「り災程度」と被害の程度に差が生じる場合があります。
- 「り災程度」は家屋を屋根、壁、構造等の部位別に表面に表れた被害を観察して判定します。
※ 表面に表れない被害(例：地中の杭の折損、壁・構造体等の内部素材そのものの被害等)がある場合には、この証明の「り災程度」と異なることもあります。
- この証明は、災害発生後おおむね、1ヶ月以内の状況をもとに判定しています。
- この証明は、原則として一世帯一枚の発行となりますので、大切に保管して下さい。